

# 5年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読み自分の考えを表現する活動に意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・説明文の学習で、全体の文章構成から要旨をつかむことができるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎文章の構成を考えながら筋道を立てて「書く」ことに課題がある児童が多い。</li> <li>・語彙が乏しい。学習した漢字を日常場面で活用できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の時間に板書や自分の考え、学習感想などを書く時間を設け、確実に書かせる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数的活動をすすんで取り組む児童が多い。</li> <li>・答えを求めた後、検算をしたり、確かめをしたりする児童が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎児童の日常生活に必要な感覚が身に付いていないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を解くだけでなく、これまでに身に付けた感覚をさらに養うため、日常の場面で使われているものを意識させ、児童に考えさせる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心が強く、意欲的な取り組みが見られる。</li> <li>・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎社会的事象について、疑問に思ったことや感じたことを、資料集や教科書を活用し自分の言葉で書く習慣を付けさせることが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の読み取り方を丁寧に指導し、そこから分かったこと、疑問に思ったことを考えさせ、自分の言葉でノートにまとめさせる。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科への興味・関心が強く、特に、実験・観察に対して意欲的な取り組みが見られる。</li> <li>・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科的な用語を正しく覚えられない児童がいる。</li> <li>◎既習事項の定着や、身近な生活と関連付けて考えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に書かれていることを読むだけではなく、自分たちの生活にとって身近な例を挙げ、考えさせていく。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏することができる。</li> <li>・歌唱活動では、様々な楽器に興味をもって聴いたり、速さや強弱などの変化を感じ取りながら聴いたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎呼吸及び発音の仕方に気を付けて無理のない、響きのある歌い方で歌うこと。</li> <li>・音楽を形づくっている要素及びそれらにかかわる音符、休符、記号について、その意味や効果を理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変声期の児童に配慮しながら、腹式呼吸や頭声発声について、教師が模範を示したり、児童一人一人の声のよさを見付け、自信をもって表現したりできるように声かけを行う。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて話を聞いて授業に取り組むことができる児童が多い。</li> <li>・平面作品では、対象をよく観察して絵に表すこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎忘れ物をする児童が多いので、忘れ物をなくすこと。</li> <li>・絵の具の使用が苦手と感じる児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の前週に必ず係児童に持ち物をクラスに周知してもらおう。必要な材料・道具は自分で用意するものという考えを定着</li> </ul>

	ができるようになってきた。		させる。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体的に積極的に取り組むことができ、調理実習や作品作りには、特に意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>• 裁縫道具を正しく使い、作品を作ることができる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学校や家庭において、知識の活用を図れるよう指導を工夫していく。</li> <li>• 手先の不器用さが目立ち、縫い目がそろわない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 家庭科で学習したことを日常生活に関連づけることで、より一層の理解の定着を図っていく。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運動に対する意欲が高く、友達と協力しながら取り組むことができている。</li> <li>• 与えられた課題に対して懸命に努力をし、自分の課題を考え練習方法を工夫したり、チームで作戦を考え工夫したりする姿が見られる。</li> </ul>	◎運動技能に個人差があり、習得に時間を要する児童もいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学び合いの時間を意識的に設け、さらに深い学びにつなげていく。</li> </ul>